仕事と介護の未来フォーラム

「働き続けながら介護できる社会」をつくるために
～介護における「ワーキングケアラー支援」を考える～

【主催】公益社団法人日本フィランソロピー協会／公益財団法人さわやか福祉財団

参加費 無料

2030年には、要介護（要支援）認定者数が約900万人に達すると予測されています。介護ニーズの増加に伴い、高齢者本人だけでなく、その家族や介護を支える人々が直面する課題も一層深刻化することが懸念されています。本フォーラムでは、働きながら家族を介護する「ワーキングケアラー」に焦点を当て、支援のあり方について考えます。企業や非営利団体による地域での実践事例を共有し、両立支援に資する取り組みとはどういうものか、必要なことは何か、地域とつながることの意味、多様な主体が果たす役割を探ります。仕事と介護の両立支援にとどまらず、その先にあるワーキングケアラーがよりよく生きること（ウェルビーイング）を実現するために、私たち一人ひとりができることを考える機会とします。

2026年
12月1日（火）
14:00 -17:00（開場13:40）

会　場　**シティラボ東京 会議室**
（東京都中央区京橋3-1-1
東京スクエアガーデン6階）

- 東京メトロ銀座線「京橋駅」3番出口直結
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩2分
- 都営浅草線「宝町駅」A4番出口より徒歩2分
- JR「東京駅」八重洲南口より徒歩6分
- JR「有楽町駅」京橋口より徒歩6分

定　員　**50名**

対　象　**企業の人事部門、サステナビリティ部門、NPO、自治体、関心のある個人など**

詳細 お申し込み
https://www.philanthropy.or.jp/project/miraiforum2026/
WEBフォームからお申し込みください

プログラム

14:00　開会挨拶・趣旨説明
髙橋 陽子（たかはし ようこ）
公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長

14:15　基調講演（問題提起）
「介護で取り戻す“人間らしさ” ほどよい距離で向き合う親の介護」
川内 潤（かわうち じゅん）さん
NPO法人となりのかいご 代表理事
社会福祉士・介護福祉士

15:00　事例紹介
株式会社電通グループ
株式会社日立ソリューションズ
NPO法人ホームヘルパーノア
日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう

16:00　パネルディスカッション
モデレーター：川内 潤 さん
パネリスト：事例紹介に登壇いただく企業・団体の皆様

17:00　閉会挨拶・総括
清水 肇子（しみず けいこ）
公益財団法人さわやか福祉財団 理事長

【お問い合わせ】公益社団法人日本フィランソロピー協会　https://www.philanthropy.or.jp/
三宅玲子（みやけ れいこ）・宮本栄（みやもと さかえ）
TEL03-5205-7580　FAX03-5205-7585　東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244区

登壇者

基調講演／パネルディスカッションモデレーター

川内 潤（かわうち じゅん）さん

NPO法人となりのかいご 代表理事／社会福祉士・介護福祉士

「家族が介護を抱え込まないこと」を重視し、「介護はチームマネジメント」「介護より愛情。だから頼る、任せる。」という新たな介護観を提唱。専門職としての経験に加え、家族支援活動や仕事と介護の両立支援に携わってきた知見をもとに、企業・地域の専門職が陥りがちな支援の課題、両立支援の本質とは何か、ワーキングケアラー本人のウェルビーイングの実現に向けて本当に必要な支援について発信している。

事例紹介／パネリスト

■株式会社電通グループ
コーポレートHRオフィス マネージャー
濱崎 伸洋（はまざき のぶみ）さん
Carers Hug 主宰
山中 藤子（やまなか ふじこ）さん

従業員一人ひとりの声や想いからボトムアップで生まれたEmployee Resource Group（ERG：従業員リソースグループ）を起点に、社内コミュニティ「Carers Hug」を実践。人事やDE＆I（ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン）、サステナビリティ部門も参画し、組織横断的な取り組みとして展開している。 体験に基づく「気づきの共有」を中心に、誰もが自然に話しやすい環境づくりを進めている。

■株式会社日立ソリューションズ
理事　経営戦略統括本部 エグゼクティブエバンジェリスト
兼 サステナビリティ推進本部 本部長
伊藤 直子（いとう なおこ）さん

ビジネスケアラーやネクストケアラーが安心して働ける環境づくりを推進。介護に向き合う視点として「プレイヤーではなくマネージャーになろう」という考え方で、トークライブや講演会、イントラ発信、社内コミュニティなどを組み合わせ、体験共有を軸にした施策を展開。

■NPO法人ホームヘルパーノア 理事長
日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう 代表
澤出 桃姫子（さわで ときこ）さん

誰もが住み慣れた地域で高齢になっても安心して暮らし続けられるよう、1999年から地域の助け合いの活動を展開。介護保険サービスも実践し、地元で支え合いのネットワークを構築した。札幌市厚別区地域ケア推進会議委員等も務め、「助け合いは家族介護の軽減に不可欠」と、本人と家族を支える仕組みづくりを実践中。